

2020年1月17日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

Designed by Takeru Kawamata

寝屋川市西小学校区で避難所運営ゲームHUGを実施しました！

日時：2019年11月16日(土)9:30~13:00

場所：寝屋川市立西小学校体育館

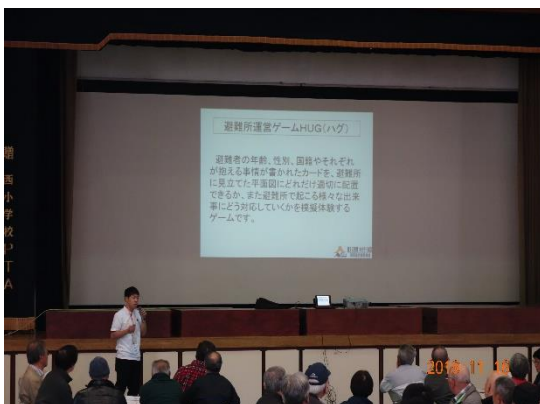
参加者：西校区地域協働協議会（計77名）

ファシリテーター：摂南大学看護大学院1名+摂南大学学部生10名+教員1名（計12名）

今回の見どころ

避難所運営ゲームHUGとは、静岡県危機管理局が開発した、災害時の避難所運営を学ぶことが出来る防災カードゲームです。今回は寝屋川市の西校区地域協働協議会主催で西校区住民を対象に実施しました。大地震が実際に発生したら避難所が開設されます。今回は西小学校が避難所になったと想定して、西小の図面を使いHUGを行いました。私はファシリテーターとして参加し、プレゼンをする役割がありました。初めてのプレゼンであり、HUGのゲーム内容が少しでも理解してもらえるように、また、ゲームが円滑に進むように説明の練習を繰り返しました。果たして学生である私のプレゼンは通用したのでしょうか？また、住民さん達は避難所運営を協力してできたのでしょうか？

プログラム実施風景



緊張で声が出ない中、災害時の状況やHUGのルールなどの説明を行いました（足も少し震えていました...）。



西小学校体育館が避難所となったのでみんなで図面を確認し、通路の確保をしています。



たくさんの避難者がやってきて、どう対応すればいいか困っています！（私ならどうする？と考えました）



避難者をどこに配置するか、班の中で意見が飛びかい対応が遅れてきました。



避難者の配置以外に、支援物資や仮設トイレなどの受け入れ場所を決めなければいけません。



HUG終了後に、寝屋川市作成のハザードマップを参加者全員で確認しました。

プログラム実施結果

プログラム終了後、参加者から「思った以上に大変だった」との意見が上がりました。私が初めてHUGを行った時も同じ気持ちになったのを思い出しました。一方で、「いい体験が出来た」との声も頂き、ホッとしました。初めのプレゼン後に通路の確保が始まると私の担当班から「何をしたらいいのかわからない」との声が上がりました。この時点で、私のプレゼンは全く通用しなかったのがわかり焦りました。しかし「ペットと避難者は分けるべき」など活発な意見が飛びかい、参加者の皆さんに助けられながらHUGがうまく周り始めました。たくさんの指摘を受けながら練習を続けてきて良かったと思いました。プログラム終了後に、見学者の西小学校の副校長先生から「プレゼンの初めに相手を引き込めるような一言があってもいい」とのアドバイスを頂きました。次のプレゼンでそれが出来るように、たくさんの小説や漫画を読んで、まずは言葉の幅を広げたいと思います。

今回のプログラムにご参加頂いた西校区地域協働協議会の皆さま、副校長先生ありがとうございました。